



市制50周年記念座談会  
Round-table Talk for the  
Commemorative Handbook

金子博 Mr. KANEKO Hiroshi

昭和18年、戦時下の北京で生まれる。戦後は牧丘町へ。東京教育大学大学院卒業、専門は日本近現代文学。東京で国語教師、後に大分大学で教鞭をとる。昭和52年から都留文科大学へ。平成14年に学長就任。

西室泰三 Mr. NISHIMURO Taizo

昭和10年、上谷早馬町に生まれる。谷村第一小学校、谷村中学校中退後は東京へ。慶應義塾大学在学中、ブリティッシュコロンビア大学へ留学。平成8年に株式会社東芝の代表取締役取締役社長、平成12年に代表取締役取締役会長に就任。日本経済団体連合会副会長、財政制度等審議会会長代理、地方分権改革推進会議議長、日米経済協議会会長他数々の要職を歴任。

小林義光 Mayor, KOBAYASHI Yoshimitsu

昭和23年、下谷に生まれる。禾生第一小学校、禾生中学校、都留高校、日本大学卒。昭和61年、都留青年会議所理事長に就任。昭和62年より3期にわたり山梨県議会議員、平成9年に県議会議員に就任。平成9年、都留市長に就任。現在2期目。

国井雅比古 Mr. KUNII Masahiko

昭和24年、下谷田町に生まれる。谷村第一小学校、谷村中学校卒業後は東京へ。東京大学卒。学生時代は演劇に打ち込む。昭和48年にNHK入局。「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」のキャスターをはじめ活躍中。



左から国井雅比古氏、小林義光(市長)、西室泰三氏、金子博氏

# 都留の五十年を想う

都留の五十年を  
振り返って

【小林市長】本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。都留市は昭和二十九年四月二十九日に誕生し、平成十六年で五十周年を迎えます。あまり派手ではなかったかもしれませんが、堅実に個性のそして魅力的に発展してきました。今日は各界でご活躍される皆さんにお話をいただいて、これからの市政経営の指針にしていきたいと考えます。

【西室会長】私は昭和十年、都留市の中心に位置する上谷の早馬町で生まれました。小学校は谷村第一小学校、中学は谷村中学校の途中から東京へ転校し、慶應義塾大学卒業後東芝に入社し、まだ一ドル三百六十円時代に海外関係の営業をしておりました。平成十二年に会長になったのですが、会長になると社会貢献的な仕事が多く、日本経団連の副会長や政府の財政制度等審議会の会長代理、地方分権改革推進会議議長など、肩書きが増えましたね(笑)。いざれにしても最近のほうが勉強することが多く、老いの身にムチ打って必死に勉強しております。

【金子学長】私は昭和十八年、戦争中に北京で生まれました。祖父父母が牧丘なのでこちらへ引き揚げてきました。中学高校と甲府で過ごし、東京教育大学大学院を卒業しました。東京で高校教師を三年ほどしたあと、大分大学で教鞭をとり、昭和五十二年に都留文科大学から声がかかり、自分のふるさ

都留市誕生に向けて  
人々は「まちの未来」を  
熱く語り合った…  
半世紀を超えて今に伝わる  
ふるさとへの思い



【小林市長】私も初代小林治郎市長の息子さんに聞いたことがありまして、最後に大学をつくるか自衛隊を誘致するかという話だったそうですね。

【国井キャスター】最初は大学で美術を教えている先生の作品が選ばれました。大イベントでした。

【西室会長】短大の認可が出たのは昭和三十年でしたよね。認可を受けるためには、どんな施設があれだけの蔵書があるかといった条件をクリアするのには当局とあの手の夜どおし熱戦（バトル）が繰り返して行われていました。そうやって集めた本を五千冊ほど並べました。

【金子学長】苦しい時代が十年くらい続きました。しかし、私が来た昭和五十二年にはも



都留文科大学

【西室会長】市になるにあたって、市としての特色を出すには何がいか、父をはじめ大人たちが熱いディスカッションをしておりましたね。昭和二十二、二十三年ごろ、市制施行前からだったと思うのですが…。その結果として大学をつくらうと。理科系の学問だと市としてお金足りなくなるから、最初から名前を文科大学にして守備範囲をしっかりと決めないといけない…。ということでした。

【小林市長】当時、さまざまな人たちに、そんなところでもご尽力いただいていたとは…。改めてありがとうございます。【西室会長】当時の大人たちの間では、このように市になる前からまとまった意見として「都留文科大学」をつくらうという動きがあったのです。「文化の道」を都留市の大きな柱の一つにするということでした。

水に穴を空けてワカサギ釣りもしました。

【国井キャスター】当時のスケートは、下駄の下に金の板をくっつけて、ひもで足にくくり付けてすべったものです。下駄のスケートは痛いんですよ。スケート場に来ている何人かが革靴のスケート靴でして、うらやましかったな。

【西室会長】その何人かの一人が私でしたね（笑）。あのころは本当に寒かった。小学校のころ、東京の子どもは半ズボンで学校へ行っているら

しいと聞いて、対抗して一冬半ズボンと下駄で過ごしたりしましたね（笑）。

【金子学長】当時、市制施行を迎えるにあたって、まちはどんな雰囲気だったのですか？

【西室会長】市になるにあたって、市としての特色を出すには何がいか、父をはじめ大人たちが熱いディスカッションをしておりましたね。昭和二十二、二十三年ごろ、市制施行前からだったと思うのですが…。その結果として大学をつくらうと。理科系の学問だと市としてお金足りなくなるから、最初から名前を文科大学にして守備範囲をしっかりと決めないといけない…。ということでした。

【西室会長】ええ。大人たちが「自衛隊の演習地としてもっと富士山に近くないと難しいだろう」などと話しているのを子どもたちの聞きましたね。結果として大学とい

時代でしたから、ハード面でも御粗末な施設でした。とても大学と呼べるような状況ではなかったですね（笑）。

【金子学長】そうですね、学生をなんとか集めて、本も集めて、設置基準をクリアして（四年制大学として）昭和三十五年に発足しました。

【西室会長】短大の認可が出たのは昭和三十年でしたよね。認可を受けるためには、どんな施設があれだけの蔵書があるかといった条件をクリアするのには当局とあの手の夜どおし熱戦（バトル）が繰り返して行われていました。そうやって集めた本を五千冊ほど並べました。

### 都留文科大学は昭和35年に四年制大学として発足

学生をなんとか集めて、本も集めて、設置基準をクリアして（四年制大学として）昭和35年に発足しました。  
◎金子学長

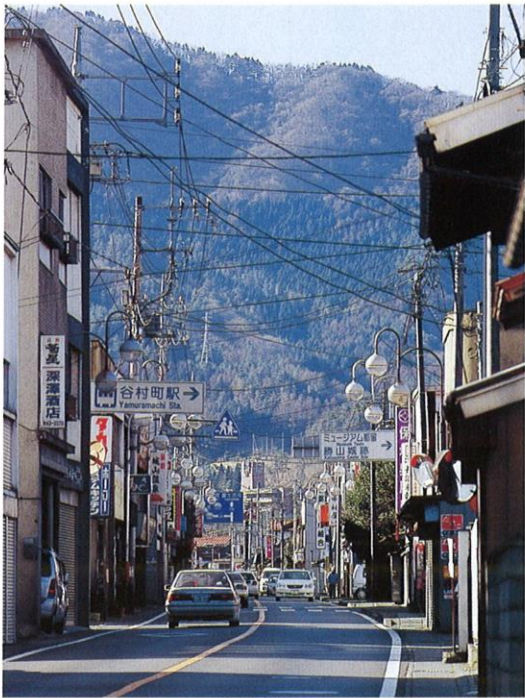
### 合併当時の国道139号は馬が通る道でした

合併当時、家の前の道が国道139号で、まだ旧道で舗装がされてなく、馬が通る道でした。雨が降るとびしゃら（水たまり）ができるわけですよ。  
◎国井キャスター

【西室会長】都留市が市制施行したのは昭和二十九年です。すよね。ちょうど私は高校を卒業したところで、市章を募集していました。確か応募

【西室会長】ベীগマをよくやりましたね。強くするため、ヤスリでベীগマを低く削って楽しかった。遠征で十日市場の方まで行って怒られたことも…。（笑）。あとメンコもや

【西室会長】昭和二十年代の最初のころは河口湖が半分以上凍っていて、わざわざスケートに行きました。寒い中、



国道139号

【国井キャスター】昭和二十四年の二月に田町で生まれ、男ばかりの三人兄弟の一番下です。兄二人は今も谷村で仕事をしています。谷村第一小学校を出て、谷村中学に行き、東京学芸大学附属高校にたま

【小林市長】禾生地区ではベリタンと呼ばれましたね。

【国井キャスター】僕は冬になれば西願寺の近くの田んぼでスケートをしていました。山中湖が凍らなくなつたのはいつからでしょうね。二十年ぐらいはもう凍ってないですね。

たま受かって急遽東京の高校に行くことになりました。それが昭和三十九年、ちょうど東京オリンピックの年で、西室さんがアメリカに渡ったころ、ちょうど私は高度経済成長期を迎えた東京におりました。ビートルズが流行っていましたね。昭和四十二年、一浪して東京大学に入学し、劇団こまばに入り、い

【西室会長】市になるにあたって、市としての特色を出すには何がいか、父をはじめ大人たちが熱いディスカッションをしておりましたね。昭和二十二、二十三年ごろ、市制施行前からだったと思うのですが…。その結果として大学をつくらうと。理科系の学問だと市としてお金足りなくなるから、最初から名前を文科大学にして守備範囲をしっかりと決めないといけない…。ということでした。

【西室会長】短大の認可が出たのは昭和三十年でしたよね。認可を受けるためには、どんな施設があれだけの蔵書があるかといった条件をクリアするのには当局とあの手の夜どおし熱戦（バトル）が繰り返して行われていました。そうやって集めた本を五千冊ほど並べました。

【西室会長】昭和二十年代の最初のころは河口湖が半分以上凍っていて、わざわざスケートに行きました。寒い中、



都留市・市制50周年記念座談会

## 千のアイデアのうち三つでも 当たれば商売になる

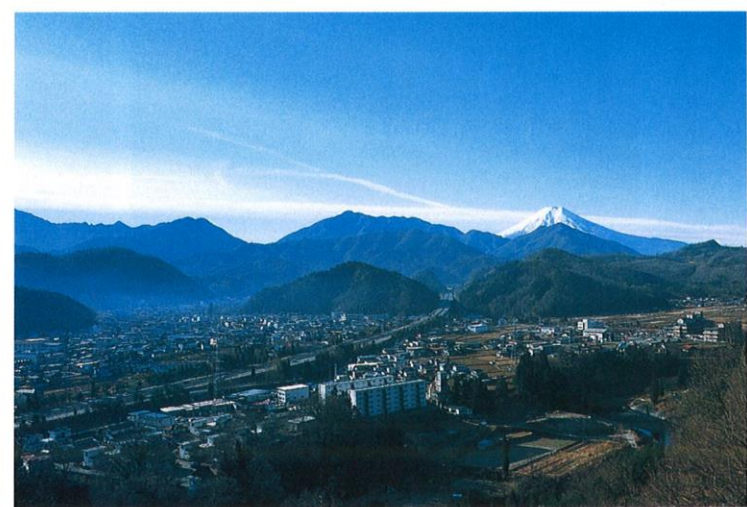
一般のお客様との距離が近いもので、かつ自分たちの技術でできるものをつくって、ビジネスストゥービジネスという発想を離れ、ビジネスストゥーコンシューマーという発想をふくらませるんです。

◎西室会長

【西室会長】今の時代、物質的にはある程度満たされ、生きがいと働きがいを求める時代です。市民の皆様が健康で笑顔で暮らせるまちにしたい、いろいろなことを創造して、まちづくりに取り組んでいるわけです。

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

ありますが、そういう状況で本市の地場産業が接点を持つことは可能でしょうか？



都留市のまちなみ

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で



【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

詠んだという場所に温泉施設「芭蕉月待ちの湯」もあります。また、芭蕉が六カ月間逗留したという「桃林軒」も再建の予定です。そういったことを組み合わせながら今の時代に活かすというのがわれわれの課題だと思います。それが都留の特性を活かすことになると思うのです。いつも「歴史と未来と人々の笑顔が出会う町」といっているんですよ。今の時代、物質的にはある程度満たされ、生きがい

【西室会長】市長さんは活性化に向けて積極的にやられていると思います。私の兄が東京の仕事で大体終えまして、東京と都留で半々の暮らしをしているのですが、当人はとても幸せですよ。この土地の人々の笑顔が氣を落ち付かせてくれ、それからなんといいっても空気がきれい。水のおいしさと冷たさ。自然の規模のまちなしはとて優れていると思います。それからやはりチラッと見えるいろんな角度の富士山も魅力だと思います。願わくばもう少し産業も発展してくれらな

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

【金子学長】学生をいかに集めるか必死でしたから。昔は沖繩にも入学の勧誘に行っていたそうです。【小林市長】そうそう、返還前は沖繩枠という形で入っていたのでした。【金子学長】先日、沖繩の同

【西室会長】市長さんは活性化に向けて積極的にやられていると思います。私の兄が東京の仕事で大体終えまして、東京と都留で半々の暮らしをしているのですが、当人はとても幸せですよ。この土地の人々の笑顔が氣を落ち付かせてくれ、それからなんといいっても空気がきれい。水のおいしさと冷たさ。自然の規模のまちなしはとて優れていると思います。それからやはりチラッと見えるいろんな角度の富士山も魅力だと思います。願わくばもう少し産業も発展してくれらな

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

【金子学長】学生をいかに集めるか必死でしたから。昔は沖繩にも入学の勧誘に行っていたそうです。【小林市長】そうそう、返還前は沖繩枠という形で入っていたのでした。【金子学長】先日、沖繩の同

【西室会長】市長さんは活性化に向けて積極的にやられていると思います。私の兄が東京の仕事で大体終えまして、東京と都留で半々の暮らしをしているのですが、当人はとても幸せですよ。この土地の人々の笑顔が氣を落ち付かせてくれ、それからなんといいっても空気がきれい。水のおいしさと冷たさ。自然の規模のまちなしはとて優れていると思います。それからやはりチラッと見えるいろんな角度の富士山も魅力だと思います。願わくばもう少し産業も発展してくれらな



都留市ふれあい全国俳句大会

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で



【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

【西室会長】二つ方法があります。一つはもう一歩進んだ下請けをつくるという方法で

## 市民の皆様が健康で 笑顔で暮らせるまちにしたい

今の時代、物質的にはある程度満たされ、生きがいと働きがいを求める時代です。市民の皆様が健康で笑顔で暮らせるまちにしたいと、いろいろなことを創造して、まちづくりに取り組んでいるわけです。

◎小林市長

つたんですね。メーカーでいうデスバレー（死の谷）というんですかね。

【西室会長】つまりアイデアがあつて素晴らしいということとで製品になることは数少ないんですよ。開発と製品化の間には死の谷があるんです。その死の谷に落ちてしまうことがほとんどなのです。中小企業のいいところは、死の谷が大企業より狭い、製品と製造の距離が遠くない、直結できる。今までは谷はないけれど、その先はあのおじさんたちがやってくれる。ビジネストゥービジネスしかないから下請けになる。そうではなく、谷の先にはお客様がいる、そつちを見て仕事をする、ということを中心にかけていくことが必要だと思います。

【小林市長】量産の大きな工場が地域にあることが大きなことではなく、消費者のニーズに的確に答える製品をスピード感を持って生み出すことのできる、小さくても技術や知的資源を豊富に持った会社が地域にたくさん



出てくる必要がある時代になっていると思います。そして研究開発する小さな研究所やベンチャー企業などが東京以外にもできてきました。移転先や立地先を見てみると漠然としていますが、気持ちのいいまちづくりがキーワードになるような気がします。



ミュージアム都留



リニア実験線と田園



い教育の場があり、あと介護や子育て支援の問題、そのへんをもう一段踏み込んで確立する必要があります。それが若い夫婦が住みやすい良いまちであり、逆にここで余生を過ごしたいという人がやって来るいいまちになります。

【国井キャスター】都留には

暖味模糊とした居心地の良さがある。夜の額が凍るような空気の冷たさ。空気がきれいでも水も豊か。水が豊かなまちはいいまちなんです、誇るべきです。住んでいる人間にとって気持ちがいいまちには、自然と人が集まってくるんで

【国井キャスター】地元主婦の方が中心なんです。「レポロの会」といいます。今年で三年目になり、市から予算を組みましょうかという話があったのですが、主役は彼女たちなので彼女たちに決めさせてくださいといったら、

彼女たちはいりません。自分たちで自発的にやりたい。偉いと思いましたがね。行政に一切遠慮せずに自分たちだけでやっていくことは大事なことです。

【小林市長】それは一種の「まちづくり」だと思います。自分たちの住む地域には介護や子育て、環境、防災などたくさん課題や問題があります。それを自らの意思によって解決していくには「やりがい」がないとできません。

【西室会長】住民が住みやすい、住んでいて心地良いまちにしていくことが、結果的にこのまちを発展させていくことにつながっていくんだと思います。人口を増やすということではなく、まとまったかたまりが幸せになつていくということを反映していく、ということなんです。どうやったら自然と一緒に生きるまちができるか、そこをしっかりと押さえながら取り組んでいただきたいですね。

【小林市長】本市では「個性輝く創造社会」、「持続可能な

定常社会」、「互恵・共生社会」を三つの目指すべき社会像として掲げています。これからまちづくりは行政だけがやる時代ではありません。住民が主体的に取り組むことが大事です。その点、市民活動を盛り上げていきたいですね。

都留文科大や自然という都留市が誇るべきさまざまな資産を活かしながら、一生懸命やっていきたいと思っています。「宝の山いきものふれあいの里」で色々な体験プログラムをつくって、渋谷の学校に売りに込みに行つたんです。来てくださった子どもたちの世話を学生のアルバイトをお願いしたら、これが好評で来年は何校か来てくれることに。ここでは青少年の自然体験を中心にやっていこうと思つています。一方で「戸沢の森 和みの里」では工芸や農業体験健康づくりなど大人が体験できる仕掛けを作ろうと思つています。それからウォーキングトレイルという国土交通省の事業がありますが、谷村の中心部に三・五キロの歩道

を建設する事業で、ミュージアム都留やまちかど博物館、そして寺社や史跡をつなぎ、そのところどころにポケットパークを設置し、道路を観光や情報交換、そして交流の場として建設して「谷の町、史の里」構想を実現していこうと取り組んでいます。もう一つ、都留では大学、陸上競技場、野球場、文化ホール周辺を「学術・芸術・体育・自然」などに親しみ育む地域として総称を「都の杜・育みの里」と呼んでいきます。それらの会場で、二泊三日の都留音楽祭を開催していきまして、泊まりで百人くらいの人に来てくれるんです。セミナーハウス、いわゆる宿泊所をつく

ることによって、その一帯を合宿村にしていこうという構想もあります。ビジターに都留市の良さを知ってもらい産業にもつなげていけたらと思っています。

でまちをつくるんだ」そんな気持ちで。その責任は市長が全部とると（笑）。あとは民間の人間と酒を飲んでほしいな。癒着だとか官官接待だとか叩かれてから、どうもそういうことは良くないと思われていますが、そういう場で、生の声をどんどん出してもらう。出る杭は出たままにして打たない。それを行政は見守りつつ、やるときはやる、責任は全部俺がとる、こうなると行政がおもしろくなってまちが動くと思えます。

たように思います。これから大学は難しい時代に入ります。ご存じの通り独立行政法人化という厄介な問題がやってきます。これからは生き残りをかけていろいろ考えて進めていかなければならない。市と大学が一生懸命協議しながら互いに知恵を出し、何かつくったり、建物だけじゃなくシステムをつくったり、そういうことを一緒にやっていきたいですね。

【国井キャスター】私としては市役所の三十代前半、一番動きやすい立場にある人たちに、もっと前線に出てきてほしいですね。「何のための市役所か」「もっと楽しんで



うぐいすホール前にて

【金子学長】確かに大学の教員と市役所の職員についても、昔みたいにあまり一緒に酒を飲まなくなつ

【小林市長】前線に出るといふお話ですが私も同意見です。職員にもそう話しています。われわれはアナリストや評論家ではない、現状を変えていくことがわれわれの使命だし、課せられた課題であると思つております。今日、皆様のお話を聞きまして、さらにがんばつていこうと思つています。本日は本当にありがとうございました。



【国井キャスター】私としては市役所の三十代前半、一番動きやすい立場にある人たちに、もっと前線に出てきてほしいですね。「何のための市役所か」「もっと楽しんで



【小林市長】前線に出るといふお話ですが私も同意見です。職員にもそう話しています。われわれはアナリストや評論家ではない、現状を変えていくことがわれわれの使命だし、課せられた課題であると思つております。今日、皆様のお話を聞きまして、さらにがんばつていこうと思つています。本日は本当にありがとうございました。

◎この座談会は平成十六年一月十一日に行われました。